

事業所名

おりーぶおりーぶ厚生病院前

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

20 日

法人（事業所）理念		利用者個人の尊厳を重んじ、その尊厳にふさわしい支援を保障し、社会を構成する一員として、社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が持てるように努力します。 サービスを受ける利用者に「生きがい」「満足」のある福祉サービスを提供します。 すべての人が安心して暮らせる豊かな地域社会づくりに貢献します。					
支援方針		障害児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活に適応することができるよう、また、生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、当該障害児の心身の状況及びその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	（あり） なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	定期的な心身の把握を行います。また生活リズムの安定を行います。 様々な遊びを通じて学習できるように環境を整えます。 日常生活や社会生活を営めるよう、個々に適した身体的・精神的・社会的訓練を行い、生活に必要な基本的技能を獲得します。					
	運動・感覚	個別療育では、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持やからだの使い方等を学びます。また遊びを通じて保有する感覚（視覚・聴覚・触覚等）を活用できるように支援します。 集団療育では、少人数のグループで音楽に合わせ身体を動かしたり、遊びのなかに運動を取り入れています。感覚活動として、指先をつかったトレーニングやビジョントレーニング、ストレッチや軽い運動等を取り入れ、感覚機能や体幹機能を整えていきます。					
	認知・行動	感覚（視覚・聴覚・触覚等）を活用し、認知機能の発達を促します。具体的には、空間や時間等の概念化、タイムテーブルによる時間の認知形成、物質の変化と感覚の認知形成や空間形成等を遊びの中で形成し、必要なメッセージを選び行動につなげるという認知の発達を行います。 認知に偏りが生じている場合は、個々の特性に対し配慮していきます。また認知の偏りにより行動障害が生じている場合は、適切な行動への対応の支援を行います。					
	言語 コミュニケーション	個々の特性に応じたツールを使い、具体的な事物と言葉の意味を結び付け、発声を促したり言語の習得を行っています。 また小グループの人との相互作用を通してコミュニケーション力をのばし、共同注視の獲得を目指しています。 学習支援を行うことで、個々に応じたスキルを修得し、楽しく学ぶ力を身につけることができます。					
	人間関係 社会性	身近な人とアタッチメント（愛着の行動）の形成を行うことで周囲の人と信頼関係を築き、安心できる人間関係を構築できるように支援します。 感覚運動や感覚遊びを取り入れることで、ごっこ遊び等の模倣を促し、社会性の発達を支援します。 集団に参加するための手順やルールを学び、集団遊びや活動に参加できるように支援します。また地域との交流を通して社会性を促します。 SSTを活用し、人との関わり方やコミュニケーションスキルを身につけます。					
家族支援		育児に対する悩み事や困りごとについて、ペアレント・トレーニングを導入し、段階的に支援を行います。また兄弟姉妹に対する悩み等に対し、支援を行います。			移行支援	次のステージに移行する際は、情報提供等を含めつなぎの支援を行います。	
地域支援・地域連携		必要な関係機関と繋がりながら、地域で生活しやすいように支援します。			職員の質の向上	法人内の定期的な研修及び外部研修に参加し、資質向上を行っています。	
主な行事等		音楽療育、ドッグセラピー、リトミック、運動療育、感覚遊び、言語療育、学習支援、クッキング、季節の行事、外出支援（買い物、祭りに参加、散歩等）					